作成日:　　2024/3/15

第６期　第8回ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ運営協議会 市民参加部会活動報告書

		令和4年度	令和5年度													令和6年度	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
会議日程	部会開催日	3月22日 全体会	4月20日	5月7日 5月11日 ワークショップ	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日 9/17 講演会	10月12日	11月9日 11/19 講演会	12月14日	1月11日	2月8日	3月14日	4月17日	5月9日
	運営協議会開催日															
1. センターイメージチェンジ事業												企画概要検討				
ウィッシュツリー制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示		制作物の撤去									
月替わりパネル展示			展示団体募集	抽選・連絡	6 月展示	7 月展示	8 月展示	9 月展示	10 月展示	11 月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	出展団体募集開始	団体選定　決定通知	展示準備	5月展示
スペース活用プロジェクト												スペース活用アイディア出し		準備	新レイアウト試行	パネル展示に合わせてできる所から実施
参加体験型ワークショップ												企画提案	内容検討		シモジマとの打ち合わせ	
2. 市民交流参加事業																
市民団体					企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成	10/1 公募開始	市民公募講演会	次年度公募企画検討					
企業				日程・内容検討												
学術				企画の概要決定		広報原稿作成	8/15 募集｝講演準備	9月17日			次年度公募企画検討					
はじめの一歩										企画提案	内容検討・次期部会引継資料作成					

「活動内容(3ケ月間)」

1. センターイメージチェンジ事業(谷合委員)
1-1　2024年度　パネル展について
　市民団体の活動紹介パネル展・企業(CSR)活動パネル展、いずれも継続して実施し、募集を行い、応募があった団体について３月の部会で展示団体を決定しました。(別紙、一覧表参照)
　8月の展示希望団体が2団体であったことから、8月展示分について追加募集することとなった。6月中に決定通知ができるようなスケジュールでの追加募集ができるように準備を進めます。
　企業パネルについては、6月分に IKEA から応募がありましたが、他の企業からの応募がなかったため、随時募集を継続することとなった。
1-2　広がったサポートセンターの活用について
　大きく広がったサポートセンターのスペースの活用方法について、市民参加部会のセンターイメージチェンジ事業の中で検討することになった。市民活動サポートセンター見取り図とFACE５階フロアー見取り図などをベースに下記のような点について検討し、新らしいレイアウトは４月１日から試行しながら運用する予定である。
　キッズスペースとしては日の当たるキューブの中に利用希望が入った時のみ設置する。(実設はしない)
　プロジェクターやスクリーンを利用した打ち合わせスペースの確保。パネル以外の実物を展示できるスペース(展示棚)などについて導入を検討する。
　交流利用スペースとは団体登録をしていないとも利用できるスペースとして検討し、テーブルやパ型のホワイトボード、展板のようなものの設置も検討する。
　団体利用スペースのテーブルは移動が多いのでキャスターを付けられるとよい。
　受け付け位置については変更修正ができないとのことであったが、入り口正面に受付がありよりは入り口の左右両側に２箇所に分けて配置する方が中に入る人に目が配れて、利用される人が必ず受付を通るようになるという意見もあった。

2. 市民交流参加事業
2-1 夏休み 親子ワークショップ企画について(2024年8月予定)
　次期 2024 年8月に実施を想定している夏休み親子ワークショップ企画の概要について下記のように検討している。この企画は初の企業とのコラボレーションとして４月以降シモジマの担当者と協議しながら詳細を決定してゆくこととなった。特に“市民活動につながる要素”をどのように盛り込むかを中心に今後も検討を続けてゆく。
開催日　　令和5年　8 月中
開催時間(予定)　　13:30～15:30
定員　　30 - 40　名
参加費　　無料
参加者決定方法　先着順
参加申込み受付期間　　6 月中旬から 7 月末締め切り
当日の運営スタッフ　　シモジマ＋市民団体
3 パターンの対象者についての企画を検討している。
対象　小学生と保護者 、
目的　自分の住んでいる船橋市を知って、子供新聞を作ってみよう
ゴール　一人ひとりが子供新聞を作る。(完成したした子供新聞のコピーをパネルにまとめて展示する)
案 1 では、小学生の夏休みの宿題になるようなものが望ましい＋保護者に地域で活動する市民団体を知ってもらう
対象　中学・高校生(夏休みボランティアは体験)
目的　船橋市内の地域課題・地域の問題に取り組む市民団体をしらべて、紹介ポップを作ってみよう。
ゴール　船橋市市民団体マップを完成させ、市民活動サポートセンター内に展示する。
案 2 では、中学・高校生は夏休みボランティア体験を市民参加部会として受け入れ、ボランティア体験の一環として船橋市市民団体マップ作ってもらう。
対象　　一般市民
目的　地域課題・地域の問題の解決に取り組む市内の市民団体を紹介するポップを作り、地域活動紹介マップを作成しよう。
ゴール　船橋市市民団体マップを完成させ、市民活動サポートセンター内に展示する。
案 2, 3 の制作物は wish tree 形式で後から市民が自分の希望やリクエストが書き込めるような形で、サポートセンター内に一定期間展示することを想定する。
2-2、　学術講演会について
　　藤井先生の講演会について協議し、日程的に今期に実施することは困難なので、来期に持ち越すことになった。
2-3　市民活動はじめの一歩ワークショップ(南山委員)
　次期 2024 年12月以降に実施を想定している“市民活動スタートアップ応援企画(案)”についてその概要を検討している。これまでよりも、さらに一般市民向けの企画として引き続き検討する。
主なスケジュールは下記のように想定している。
＜スケジュール案＞
6-7月　フェア実行委員会の議論と並行して新年度市民参加部会で企画の詳細を検討、講師選定
8月中　　詳細に内容検討
9月上旬　公報ふなばし用原稿提出
11中旬　市民活動フェアと共に広報ふなばしで告知、参加者募集
12月　市民活動フェア内の企画への参加を第１回ワークショップとする。
1月　　第２回ワークショップ
2 or 3月　第３回ワークショップ
　→４月から新規登録・活動団体として動き出せる団体ができることを目指す。

「周知事項」

1. センターイメージチェンジ事業
市民活動パネル展示についてはｇ月分の追加募集が行われます。市民団体で活動紹介をしたい団体に対してご周知・ご応募いただければ幸いです。
企業パネル展の出展企業を募集しています。市内で CSR 活動を展開している企業の情報がありましたらご連絡ください。

サポートセンターの新しいレイアウトが４月から導入されます。より多くの市民の方にサポートセンターを利用していただくためにあったらいいなというものやサービスがありましたら、お知らせいただき、より利用しやすいサポートセンターになるようにしたいと思っています。ご意見・ご協力、よろしくお願いいたします。

2. 市民交流参加事業
来年度は３つの市民参加型の企画を予定しています。
8 月の企業を講師としたワークショップ
11 月の公募型市民交流参加事業
12 月からの一般市民向けの市民活動スタートアップ企画
詳細は次期の委員会での議論にゆだねられますが、企画の概要が決まりましたら、PR にご協力ください。
次年度も公募型市民交流参加事業を継続実施します。団体として市民活動サポートセンターを会場とする企画をご検討いただき、ご応募いただければ幸いです。

「検討課題」

1. センターイメージチェンジ事業
現在、故障しているロールカーテンの修理も要望してほしい。夏前に直さないと夏場の空調が聞かなくなる可能性がたかい。

2. 市民交流参加事業
来年度は３つの市民参加型の企画を予定しています。特に市民活動スタートアップ企画は市民活動フェアや市民協働課が進めるボランティア体験企画との連動を想定しています。
次年度はそうした関連委員会と情報共有して、これまでよりも幅広い市民が参加できる企画にして行きたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

3. その他

前回の全体会での議論概要

2023/12/21市民活動サポートセンター運営協議会
市民参加部会質疑応答議事メモ＆要検討課題

＜質疑応答議事メモ＞
企業のパネル展応募について
T：企業からの応募が振るわなかったということだが、市と包括連携協定を結んでいる企業に案内はしているのか？
M：部会として協定先の企業全てに案内している認識はない。
Y：全協定企業への案内はしていないが、今回パネルを出すことになった4社は全て包括連携協定を締結している企業。市民活動フェアを通して案内した。
T：以前、自治体と企業の包括連携協定に関する仕事をしていた。協定の内容にCSR活動を周知することが含まれているので、パネル展示を依頼した場合に断るという選択肢はないはず。
Y：案内の出し方については次年度以降検討する。

西陣先生講演会の申し込み状況について
T：広報ふなばし、しみんりょく、ちいき新聞とそれぞれ掲載のタイミングに開きがあるが、どのタイミングで案内を出すのが最も効果的なのか知りたい。
Y：まず広報ふなばしで情報解禁という前提があるので・・・
S：コー連協の事業に関して言うと、公民館に配架しているチラシが最も有効。

公募型市民交流参加事業について
S：とても良い企画だと思う。もっと回数を増やしてより多くの団体に機会を与えたら良いのではないかと思うが、何かできない理由はあるのか？
M：特に理由はないが、他の事業との兼ね合いで今年度は1回の実施だった。
S：市民活動団体がPRする機会としてはパネル展示やちょっとしたプレゼンなどになってしまうことが多く、実際の事業を通して広く市民に参加してもらえる機会は貴重。団体支援部会でも開催しても良いし、次年度以降回数を増やすことを検討してほしい。
M：部会に持ち帰り検討する。また、報告中では言及し忘れたが、次年度の公募型事業は応募要件に登録団体であることを入れずに広く「市民活動をしている個人または団体」とした。船橋市内で活動している、という要件も、登録団体に他市町村の団体もあることと整合性が取れないので入れていない。審査において登録団体かどうかどのエリアで活動しているか、ということを加味すれば良いのではないかと考えている。このことによって応募のハードルが下がり、より多くの団体や個人に応募してもらえると思っている。
S：登録団体であることを要件にしても良いのでは？それで応募が少ないのであれば必ずしもということではないが、将来的には登録団体から応募がたくさんあるのが理想では？
M：将来的にはそうだと思うが、現状では活動していてもセンターを利用していない団体も多くある。この事業を通してセンターを知ってもらうという意味でも応募に制約は設けず審査段階で見ていくのが良いと部会では考えた。
Y：前回の部会開催から1週間しか経たずに全体会を開催しているため、確認や連絡ができておらず申し訳なかったが、応募の要件については議論の余地があると課では考える。市の税金を投入して行う事業である以上、審査は必須。
M：募集要項に抽選とあるのは誤植。当然審査は必須と考える。

協議会のHP作成について
E：検討課題の中に協議会HPについて広報部会で検討、とあるが、広報部会では提案して運用面の課題などから却下された経緯がある。何か良いアイディアがあったら教えてもらいたい。
M：良いアイディアはない笑。
K：協議会の中では3年くらい前からHPを作ってはどうかという議論があるが、実際に作るのは簡単でも、2年任期で委員が入れ替わっていく中で誰がどのように運用するのかという課題が大きい。

はじめの一歩企画について
K：市民参加部会が発足した経緯は、コロナ禍で登録団体の利用率が下がったことなどを受けて広く一般市民に開かれたセンターにし、ひいては市民活動に興味をもってもらうことだと理解している。これまで市民参加部会が行ってきた事業はこの目的をある程度達成していると思うが、一方で公民館で行われているイベントとの違いが見えにくく、サポートセンターの独自性がもっとあったら良いと感じていた。その意味ではじめの一歩企画はとても良いものだと思う。ぜひ実現してほしい。
S：コー連協で事業をしていても、ほぼ全ての参加者が70代以上で60代はとても若いね、という状況。若い世代を育てていくことがとても重要。協議会全体で応援していきましょう。

その他
M：自治会活動は市民活動に含まれるのか？自治会の中で何かやりたい人もはじめの一歩WSの対象になるのか？
Y：市民活動の定義は広く、町会などの地域自治活動との明確な線引きはない。質問への答えで言えば、対象になる。
＜要検討事項＞
・次年度公募型交流会の応募要件
・次年度公募型交流会の応募要件
・はじめの一歩企画の実施時期、建て付け
※報告の前に、矢田さんと柿崎さんより①委員の改選の時期をまたぐこと②単発×3にすると連続性が見えにくいこと、の2つの理由により当初の計画通り3回連続企画にした方が良いと課内で話し合っている旨ご意見いただきました。次回部会で再検討しましょう。
※委員改選にあたっては毎回申し述べをしているようです。部会メンバーの大部分が再任したとしても、次期協議会で方向性や具体的な活動内容を決めるので、今期中に次年度のことを計画しても必ずしも実現できるわけではないということ。したがって、今期中に企画を練って次期への申し送り事項とし、次期中に連続で開催できるようにした方が協議会としてもスムーズだし、連続企画として見せた方が目的にかなっているのではないか、とのご意見でした。